



広小学校だより

平成24年
10月24日
第14号

第10回稲むらの火祭り開催 記念イベント「大声コンテスト」も

今年も「稲むらの火祭り」が開催されました。今回はかぞえて第十回、記念すべき回数ということで、記念イベントと位置づけた「大声コンテスト」も行われました。

今年も「稲むらの火祭り」が行われた大声コンテストには、広小から全部で三十一名がエントリー、みんなよかんばって、小学生の部で次の三名の児童が入賞しました。

- 一位 佐々木悠海さん
- 二位 山口温人君
- 三位 二澤りんさん

そして例年と同様に式典前行事で六年生が



フォークソング「稲むらの火」の合唱（今回も辻本卓也さんにギターで伴奏してもらいました）、式典の中で五年生が「稲むらの火」の朗読という出演の機会をいただき、子どもたちもよかんばってそれぞれの役割をしっかりと果たすことができました。

そしてこの祭りのメインであるたいまつ行列、今回も広小から多くの子どもたちが参加、今年から新調された立派なたいまつをみんなそれぞれ持つて、八幡神社まで歩きました。広小学校は先頭を歩いたのですが、後ろを振り返ると、子ども用のたいまつも

のたいまつ、その後ろに大人の人々のたいまつも、この「稲むらの火祭り」、多くの地域のみなさんの力の結集により、開催されています。広小の子どもたちも、この祭りに出演、参加することで、子どもたちの地域の一員としての役割を果たすことができましたと考えられています。



今年度最終 広村堤防清掃に参加



十月二十一日に今年度最終の広村堤防清掃が行われ、今回も広小の四年生、五年生、六年生が参加しました。前日の夜に行われた稲むらの火祭りに参加して明るくする日の朝八時からの清掃でしたが、多くの子もたちが参加することができました。保護者の方も参加してくれました。

堤防保存会のみなさんが草刈り等の作業をしている中、小学生は今回も落ち葉や落ち枝、マツボックリ等を拾い集めてごみ袋に入れていきます。袋はどんどん増えていきますが、この袋は教育委員会の職員の方が集まり次第トラックで運んでくれるので、子どもたちは落ち葉等の袋詰め作業に集中、作業がはかどります。約五十分の作業で終了し

たのですが、今回の堤防清掃に、奈良県の大和郡山市の小学校の育友会長さんご家族で参加されていて、これはいい機会だと考えて、終了時に子どもたちにお話をしてもいいなと思いました。

遠くからわざわざこの堤防清掃に参加しようと思っただけ、そしてこの広村堤防は広の町の宝物、日本の宝物だ、ということをお話してくれました。

奈良県に住む人が、この広村堤防をとて大切に思っていて、遠路にもかかわらず広の町に来て清掃活動に参加してくれたということとは、子どもたちにとつて、自分たちの取り組んでいる清掃活動が、とても意義のあることだと、あらためて考えることができたことでしょう。

町内小学生対抗ドッジボール大会 ドッジボール大会 開催される

十月二十一日、広川町内の小学生が参加するドッジ

競いました。

の朝からの堤防清掃に引き続きこのドッジボール大会への参加という過密日程でしたが、さらに広小チームは、四つの学年の混成チームだったにも関わらず、六年生のリードのもと、チームワークよくがんばることができました。

結果、優勝、二位、三

位の上位が全部、広小のチームが占める、ワンスリースリーフィニッシュとなり、「強いぞ広小！」といえる成績でした。

この大会は、広川町商工会議所の青年部「新広会」のみなさんが実施してくれたもので、メンバーは広の町の若者のみならず、子どもたちからすると先輩のお兄ちゃんたちです。子どもたちも近い将来この「新広会」のメンバーとなって活躍してくれることでしょう。

